

平成 27 年度 第 2 回宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事要旨

日時：平成 27 年 8 月 4 日（火）15 時～17 時

場所：市役所 7 階 特別会議室

出席者：委員 10 名 事務局等 6 名

傍聴 6 名 報道関係者 3 名

1. はじめに
2. 会議

【事務局説明】

- ① 市民アンケート調査結果（単純集計報告）について
- ② 宇治市人口ビジョン・総合戦略（策定に向けて）について

【質疑応答・意見交換】

事務局：事前にお聞きした本日欠席の委員からの意見をお伝えします。

- ・出産や子育てに幸福を感じる人が少ないので、それを広める講座をした方が良い。
 - ・宇治市における多世代の交流をアピールし、気軽に集まることができるスペースがあることを発信する必要がある。
 - ・半農半 X という働き方はどうか。掛け持ちしながら、年収 300 万円を確保し、世帯年収を 500～600 万円を目指していく手法も必要である。
 - ・家を購入して貰うための施策を考えてはどうか。
 - ・宇治市戦略のキャッチフレーズを市民から募集して認知度を高めてはどうか。
- 以上のような意見がありました。

委員：伝統的なまつりである宇治茶まつりに磨きをかけ、宇治ブランドの確立に向けて活用してはどうでしょうか。また、外に出ることが難しい子育て世帯や介護の必要な世帯が小さな仕事を始められるような場所を学校に設置し、事業化を支援してはどうでしょうか。

事務局：宇治茶まつりについては、引き続き検討してまいります。小規模事業についても連携できる部分があれば、お願いしたいと思います。

委員：宇治市には、大企業もあれば、中小企業もあります。観光と商業、ものづくりを併せて、新しい産業が生まれてくるとよいと思います。また、大企業には設備投資を促進するなど宇治市に残ってもらえる施策実施が必要です。

事務局：企業連携について、踏み出せる部分について検討してまいります。

委員：宇治学の副読本を作成している最中であると聞きました。高齢の方から昔の歴史を聞くなど、副読本に高齢者の生の声を反映させてはいかがでしょうか。

事務局：宇治学は、施策の目玉であります。副読本については、現在作成しているところですが、広報についてもこれから検討してまいります。

委員：「愛着の醸成」は目立たないですが、じわりと効くものだと思います。愛着を心に留めておくだけでなく、行動に起こすためのサポートをお願いしたいと思います。

事務局：転出人口を抑えるためには愛着を作ることが大事だと感じております。中でも愛

着が低い若い世代への愛着形成への取組が必要だと考えます。健康長寿日本一にも取り組んでおりますので、アピールしたいと考えています。

委員：結婚・出産・育児の「切れ目のない支援」が絶対に必要だと感じています。子供が欲しいと思っている人が産めるようにすること、そして、今は欲しくないという人が欲しいと思えるような事業があればよいと思います。何が必要なのかを聞いて実施する姿勢が重要です。産前・産後のケアも含めて、連携できる事業を増やしていけば、子育てに足りない部分が補えると考えます。家事サポートのためのバウチャー券を使えるようにして、母親が自分を責めず、気軽に家事を頼めるようにすればよいと思います。

事務局：子どもが欲しいという希望を実現できるように各課の取組を充実させてまいります。一方で、個人の意見も尊重していくことも重要です。

委員：宇治市のキャッチフレーズは「源氏物語のまち」という外向きのものですが、本来は福祉等も充実しており、その点もアピールするのが良いと思います。インフラの整備については、取捨選択をするべきです。中心市街地には空き家が多く、潜在的なストックはあるものの、十分活用しきれていません。助成金を単年度で出すのではなく、持続性が出るような「人づくり」にお金が出せればと思います。

事務局：税収も限られている中で、すべてに取り組むことは難しいという現実がありますが、工夫したいと思います。都市基盤整備を今まで通りにやれるかという不安を持っています。持続的に取り組めるような仕組みを検討してまいります。

委員：インフォメーション、コミュニケーションが足りていないのではないのでしょうか。イベント情報もホームページだけではなく市政だよりの充実など様々な方が情報を得られる機会を創出することが重要です。宇治独自の結婚式ということで、京都市のホテルなどではなく、宇治市で結婚式を挙げるなど、市内で消費ができる環境づくりが必要だと思います。

事務局：宇治市にホテルが多いわけではないですが、大阪も京都も宿泊施設が満杯ですので、そのような機会を捉えて柔軟にやっていくことが大事だと思います。

委員：普段の仕事の中で経済的理由により子どもを育てられないという声を聞きますので、国内での雇用が生まれれば、少子化も改善されるのではないのでしょうか。海外観光客も増えてきているので Wi-Fi 整備を進めてほしいと思います。

委員：基本目標5つのうち、観光が重要であることはわかりました。しかし、「しごと」に関することを打ち出し切れていない印象です。企業の育成・支援・起業の支援にスポットを充てる必要があると思います。

委員長：PDCA サイクルを回すために、成果指標・KPI を設定して取り組むことになりましたが、そこが一番難しいところです。厳しい財政状況のなかで、きちんと戦略を建てて考える必要があります。すべては取りこめないかもしれませんが、今後ともぜひ多くのご意見いただければと思います。

【質疑終了】

3. 閉会

【次回9月26日（土）14時～】